

人口動態統計月報（概数）

令和元年7月分

	目	次
調査の概要	1
第1表 人口動態総覧—対前年比較—	3
第2表 人口動態総覧，月別	4
第3表 人口動態総覧（件数），都道府県（特別区—指定都市再掲）別	6
第4表 死亡数及び死亡率（人口10万対），死因（死因簡単分類）別—対前年比較—	10
第5表 乳児死亡数及び乳児死亡率（出生10万対），死因（乳児死因簡単分類）別—対前年比較—	14
第6表 死亡数，死因（選択死因分類）・性・年齢（5歳階級）別	16
第7表 感染症による死亡数，死因（感染症分類）別—対前年比較—	32
付録1 感染症分類と死因基本分類との対照表（追加・変更分）	34
付録2 諸率の算出に用いた人口，月・性別人口（日本人人口）	35
参 考	6～9月の熱中症による死亡者数 35

厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、政策評価担当）

公表している人口動態統計

人口動態統計速報
数値：調査票を作成した数
集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 (いずれも前年以前発生のものを含む)
公表：毎月 調査月の約2か月後

人口動態統計月報 (概数)
数値：概数
集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)
公表：月報 調査月の約5か月後 ：毎年* (年間合計) 調査年の翌年6月

人口動態統計年報
数値：確定数 (概数に修正を加えたもの)
集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲)
公表：毎年* 調査年の翌年9月

※本報告は中央の破線の部分である。
*印については概況としても公表する。

○ 本報告は、厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/>) 及び政府統計の総合窓口 (e-Stat) に掲載している。

表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
統計項目のありえない場合	・
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0
減少数(率)の場合	△

担 当
政策統括官付参事官付
人口動態・保健社会統計室
月報調整係
TEL 03 (5253) 1111
内線7476

調 査 の 概 要

1 調査の対象及び客体

人口動態調査は、「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本報告は日本において発生した日本人に関する事象を客体としたものである。

2 調査の期間

人口動態調査は、市区町村に届け出のあったとき調査票を常時作成するものであって、この月報では次のものを取りまとめ、本月分として公表するものである。

(1) 出生、死亡、死産の場合

7月中に発生し、7月1日～8月14日までに届けられたもの。

(2) 婚姻、離婚は7月1日～7月末日までに届け出られたもの。

3 本報告から除外した件数は、次のとおりである。

	本年発生件数		前年以前発生件数
	日本における外国人	外国における日本人	
出生	1 527	1 245	36
死亡	597	156	180
死産	43	・	-
婚姻	371	997	-
離婚	111	197	70

4 調査の方法

出生、死亡、死産、婚姻及び離婚について、市区町村長が受理した届書等をもとにして1件ごとに人口動態調査票を作成する。

調査票の提出経路は、市区町村→保健所→（保健所を設置する市・特別区）→都道府県→厚生労働省である。

5 結果の表章

(1) 都道府県の分類は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

(2) 死因については、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改訂（ICD-10（2013年版）」に準拠して設定される「疾病、傷害及び死因の統計分類（平成27年2月13日総務省告示第35号）」によるものである。

(3) 前年の数値は、概数である。

(4) 用語の説明

自然増減：出生から死亡を減じたもの

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死産：妊娠満12週以後の死児の出産

周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

(5) 諸率の計算式

その月分（年換算率）

$$\text{出生・死亡・婚姻・離婚率} = \frac{\text{その月の月間件数（出生、死亡、婚姻、離婚）}}{\text{その月の月初人口} \times \frac{\text{その月の月間日数}}{\text{年間日数}}} \times 1,000 \text{（または100,000）}$$

$$\text{自然増減率} = \frac{\text{その月の月間出生数} - \text{その月の月間死亡数}}{\text{その月の月初人口} \times \frac{\text{その月の月間日数}}{\text{年間日数}}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{その月の月間乳児死亡数}}{\text{その月を含む過去1年間の出生数} \times \frac{\text{その月の月間日数}}{\text{その月を含む過去1年間の年間日数}}} \times 1,000 \text{（または 100,000）}$$

$$\text{新生児死亡率・早期新生児死亡率} = \frac{\text{その月の月間件数（新生児死亡、早期新生児死亡）}}{\text{その月の月間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率} = \frac{\text{その月の月間件数（周産期死亡、妊娠満22週以後の死産）}}{\text{その月の月間出生数} + \text{月間妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{死産率・自然死産率・人工死産率} = \frac{\text{その月の月間死産数（総数、自然死産、人工死産）}}{\text{その月の月間出産数}} \times 1,000$$

注：月間出産数＝月間出生数＋月間死産数

累計分（年換算率）

$$\text{出生・死亡・婚姻・離婚率} = \frac{\sum_i (\text{i月の月間件数（出生、死亡、婚姻、離婚）})}{\sum_i (\text{i月の月初人口} \times \frac{\text{i月の月間日数}}{\text{年間日数}})} \times 1,000 \text{（または 100,000）}$$

$$\text{自然増減率} = \frac{\sum_i (\text{i月の月間出生数}) - \sum_i (\text{i月の月間死亡数})}{\sum_i (\text{i月の月初人口} \times \frac{\text{i月の月間日数}}{\text{年間日数}})} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\sum_i (\text{i月の乳児死亡数})}{\sum_i (\text{i月を含む過去1年間の出生数} \times \frac{\text{i月の月間日数}}{\text{i月を含む過去1年間の年間日数}})} \times 1,000 \text{（または 100,000）}$$

$$\text{新生児死亡率・早期新生児死亡率} = \frac{\sum_i (\text{i月の月間件数（新生児死亡、早期新生児死亡）})}{\sum_i (\text{i月の月間出生数})} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率} = \frac{\sum_i (\text{i月の月間件数（周産期死亡、妊娠満22週以後の死産）})}{\sum_i (\text{i月の月間出生数} + \text{月間妊娠満22週以後の死産数})} \times 1,000$$

$$\text{死産率・自然死産率・人工死産率} = \frac{\sum_i (\text{i月の月間死産数（総数、自然死産、人工死産）})}{\sum_i (\text{i月の月間出産数})} \times 1,000$$

注： \sum_i は、1月からその月までの累計

(6) 人口

諸率の算出の人口は、「人口推計（各月1日現在）」（総務省統計局）を用いた。

当月分の人口は、当該資料等による暫定値とした。（付録2参照）

第1表 人口動態総覧—対前年比較—

令和元年

	実数(人、胎、組)				年換算率	
	令和元年	平成30年	差引増減	増減率(%)	令和元年	平成30年
7月						
出生	76 239	80 024	△ 3 785	△ 4.7	7.2	7.6
死亡	105 655	106 271	△ 616	△ 0.6	10.0	10.1
乳児死亡	152	140	12	8.6	2.0	1.8
新生児死亡	77	61	16	26.2	1.0	0.8
自然増減	△ 29 416	△ 26 247	△ 3 169	…	△ 2.8	△ 2.5
死産	1 696	1 554	142	9.1	21.8	19.0
自然死産	803	743	60	8.1	10.3	9.1
人工死産	893	811	82	10.1	11.5	9.9
周産期死亡	261	261	0	-	3.4	3.3
妊娠満22週以後の死産	204	211	△ 7	△ 3.3	2.7	2.6
早期新生児死亡	57	50	7	14.0	0.7	0.6
婚姻	42 463	50 412	△ 7 949	△ 15.8	4.0	4.8
離婚	17 810	16 963	847	5.0	1.69	1.61
累計1月～7月						
出生	495 355	527 942	△ 32 587	△ 6.2	6.9	7.3
死亡	803 309	798 808	4 501	0.6	11.2	11.1
乳児死亡	984	996	△ 12	△ 1.2	1.9	1.8
新生児死亡	452	454	△ 2	△ 0.4	0.9	0.9
自然増減	△ 307 954	△ 270 866	△ 37 088	…	△ 4.3	△ 3.7
死産	11 279	11 527	△ 248	△ 2.2	22.3	21.4
自然死産	5 218	5 403	△ 185	△ 3.4	10.3	10.0
人工死産	6 061	6 124	△ 63	△ 1.0	12.0	11.4
周産期死亡	1 725	1 798	△ 73	△ 4.1	3.5	3.4
妊娠満22週以後の死産	1 376	1 447	△ 71	△ 4.9	2.8	2.7
早期新生児死亡	349	351	△ 2	△ 0.6	0.7	0.7
婚姻	350 067	341 461	8 606	2.5	4.9	4.7
離婚	126 191	123 098	3 093	2.5	1.75	1.70

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。

乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。

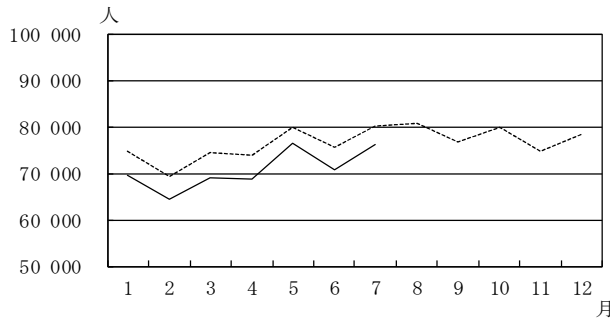
周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対。

率算出に用いた人口は付録2参照。

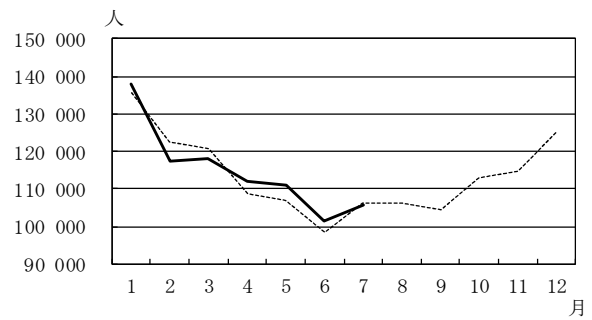
第 2 表 人 口 動 態

月	出 生 数 (人)	死 亡 数 (人)	(再 掲) 乳 児 死 亡 数 (人)	新 生 児 死 亡 数 (人)	自 然 増 減 数 (人)	死 産 数 (胎)		周 産 期 死 亡 数 (人)	婚 姻 件 数 (組)	離 婚 件 数 (組)
						自 然	人 工			
平成30年1月	74 770	135 504	146	63	△60 734	770	868	241	42 926	15 880
2月	69 344	122 425	126	48	△53 081	768	873	242	51 780	16 121
3月	74 545	120 693	134	65	△46 148	795	981	264	57 239	22 696
4月	73 876	108 670	158	73	△34 794	788	867	281	51 624	17 296
5月	79 747	106 810	137	62	△27 063	783	859	256	45 972	17 569
6月	75 636	98 435	155	82	△22 799	756	865	253	41 508	16 573
7月	80 024	106 271	140	61	△26 247	743	811	261	50 412	16 963
8月	80 710	106 193	138	67	△25 483	826	874	283	45 329	17 083
9月	76 700	104 345	137	67	△27 645	691	833	226	49 593	15 183
10月	79 795	113 111	141	67	△33 316	774	874	255	41 086	18 135
11月	74 776	114 654	181	78	△39 878	743	829	266	57 128	16 507
12月	78 474	125 371	155	68	△46 897	810	827	218	51 841	18 327
平成31年1月	69 710	137 787	153	76	△68 077	750	854	261	40 537	16 099
2月	64 344	117 286	126	57	△52 942	693	832	201	43 729	16 203
3月	68 970	118 182	145	64	△49 212	737	932	246	52 299	22 669
4月	68 805	111 894	132	62	△43 089	762	859	259	36 313	20 685
令和元年5月	76 583	111 119	144	58	△34 536	773	880	253	91 560	16 339
6月	70 704	101 386	132	58	△30 682	700	811	244	43 166	16 386
7月	76 239	105 655	152	77	△29 416	803	893	261	42 463	17 810
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										

出生数の前年同月比較



死亡数の前年同月比較



死産数の前年同月比較

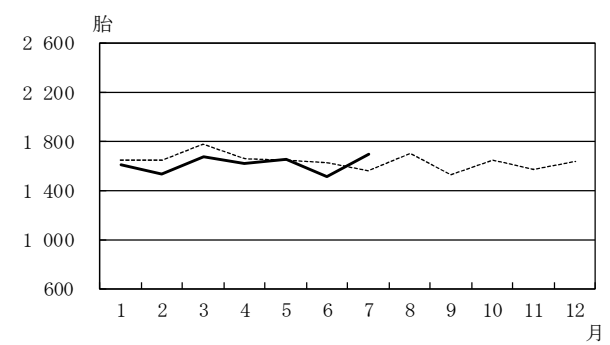
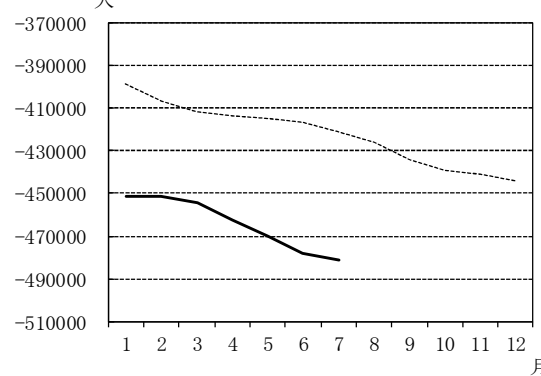


図1 当月を含む過去1年間の自然増減数



----- 平成30年
 ———— 平成31年・令和元年

※H30年1月…H29年2月～H30年1月までの1年間
 H30年2月…H29年3月～H30年2月までの1年間
 ……
 R1年7月…H30年8月～R1年7月までの1年間

